

2023年 年頭にあたって

2023.01

立命館大学技術士会
会長 土屋 光弘

新年あけましておめでとうございます。

今年は、実家のある福知山市で珍しく雪のない穏やかな元旦を迎えました。2023年が立命館大学技術士会の会員のみなさまにとって健康で幸せな年となりますよう、心から祈念申し上げます。

さて昨年は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ウイズコロナの生活様式の浸透により経済活動の正常化が徐々に進む兆しが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢等による原材料・エネルギー価格の高騰や円高進行に伴う物価上昇圧力の高まり、電力需給のひっ迫など、基礎インフラの重要性と危機管理の必要性、そして新たな事象に対応できる工夫の大切さを再認識させられた1年であったように思います。

このような中、当技術士会は、新型コロナ対応などに工夫を凝らしながら後輩の技術士受験支援、大学の授業支援、電子書籍の発刊など粛々と進め、一定の成果をあげているところです。また、会員皆様のご協力のもと、8人の新規会員をお迎えできたことは、大きな喜びでありました。

当会も2009年12月の設立以来、今年で14年目を迎え、この間の社会情勢の変化や働き方、ライフスタイルの変化などに対応し、様々な世代の会員相互が楽しく活発に活動を継続していく工夫を考えていくことが、これからの課題であると思っています。

会員の皆様と議論しながら、より成熟した技術士会に発展させていくため、引き続きご協力をお願いいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。

今年も、どうぞよろしく願いいたします。